

研究テーマ ●ヴェネツィアを中心とするイタリアの歴史と社会

法文学部・人文学科・多元地域文化コース

教授 藤内 哲也

研究の背景および目的

ファッションやグルメ、芸術やサッカーなど、イタリアの文化は日本でもずいぶん馴染み深いものになっています。しかし、イタリアの歴史についてはあまり知られていないようです。とりわけ華やかなルネサンス以後、イタリアはどのような歴史をたどったのでしょうか。この疑問を解き明かすために「水の都」として知られるヴェネツィアをおもな対象として、その歴史を研究しています。

■おもな研究内容

1. ヴェネツィアの社会や権力構造の変容について研究しています

ヨーロッパの政治思想において、ヴェネツィアは理想的な政治体制を持つ共和国として賞賛されてきました。では、その実態はどうだったのか？という素朴な疑問から、中世～近世におけるヴェネツィア共和国の社会構造や権力構造と、その変容について研究しています。

2. イタリアのユダヤ人とゲットーについて研究しています

近世イタリア諸都市にはゲットーが設置され、ユダヤ人はそこに押し込められつつも、独自の信仰や伝統を守りながら暮らしていました。そうしたイタリアのゲットーや都市社会におけるキリスト教徒とユダヤ人の関係についても関心を持っています。



ヴェネツィアのゲットー

3. イタリアの歴史世界における祭り

歴史世界では、非日常を演出する祭りがさまざまな社会的機能を持っていました。ヴェネツィアやイタリアを例に、歴史世界における祭りについても研究しています。

期待される効果・応用分野

ヨーロッパの歴史世界は、時間も空間も異なる「二重の異文化」だといわれています。こうした異文化の歴史世界を学ぶことで、日本、あるいは現代社会の歴史的な性格も見えてくるはずです。一方、国際商業都市であったヴェネツィアにおけるユダヤ人とゲットーについての考察は、異文化との接触や交流、摩擦や対立といった多様で複雑な側面を明らかにし、国際化の進む現代社会への視座を与えてくれるものと考えています。

■共同研究・特許などアピールポイント

●イタリアの都市社会史やヨーロッパの祭りについては、共同研究の成果が書籍として刊行されています。また、同じ大学院で学んだ若手研究者を中心に、ヨーロッパ各国の中央と地方の関係を考える共同研究を立ち上げる準備中です。

🗨️ コーディネーターから一言

文化や観光で日本に馴染み深い国、イタリア。なかでもヴェネツィアを中心に中世～近世イタリアの都市社会史や祭りを研究しています。イタリアの歴史や異文化交流についての講演、コメント、執筆等が可能です。

研究分野	西洋史、イタリア史、ヴェネツィア史、イタリアのユダヤ人、歴史世界の祭り
キーワード	イタリア、ヴェネツィア、中世、近世、権力構造、社会構造、ユダヤ人、ゲットー、祭り